

再評価結果一覧

【公共事業関係費】  
【道路・街路事業】  
【直轄事業等】

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析		貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、事業の 進捗の見込み、コスト削減等)	対応方針	担当課 (担当課長 名)	
			便益の内訳及び主な根拠	費用:C (億円)					B/C
地域高規格道路 一般国道106号 都南川目道路 東北地方整備局	その他	257	218	206	3便益のB/C 1.1	<p>①産業支援 ・殻付きカキ(岩手県は日本を代表する産地)の市場への輸送効率向上 ・コネクター製品(出荷額は日本第3位)の輸送効率向上</p> <p>②観光支援 ・岩手県を代表する主要な観光地(小岩井農場や浄土ヶ浜など)へのアクセス向上 ・観光交流促進を支援</p> <p>③医療支援「命の道」 ・3次救急医療施設へのアクセス向上(川井村及び盛岡市築川地区-3次救急医療施設 15分短縮)【約3.6億円※】</p> <p>④災害時等における交通の確保 ・当該道路の整備により、災害時等の迂回ルートが確保される【約0.3億円※】</p> <p>⑤冬期交通への支援 ・冬期の推雪、路面凍結による速度低下の軽減【約13.7億円※】</p> <p>※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値) * 全体B/C:1.1、残事業B/C:1.4</p>	<p>・当該道路の整備により、水産業や製造品出荷の輸送効率の向上、主要な観光地へのアクセス向上、3次救急医療施設へのアクセス向上などの様々な効果が期待される。 ・隣接する県施工の築川道路(L=7km)との連続性をふまえ、築川道路側の区間(L=2.6km)を先行して工事を推進している。 【コスト削減】 ・新たな交通量に基づく道路構造の見直し(車線数を4車線から2車線に見直し)【約43億円減少】。</p>	見直し継続	道路局 国道・防災課 (課長 深澤淳志)

\* 3便益に費用便益分析マニュアルに規定のある便益の試算値を加え、費用で除した場合のB/Cの値